

令和5年度中予地方局予算事業成果表

1 基本事項

- (1) 事業名 七折小梅産地再興支援事業費
 (2) 事業期間 令和3年度～令和5年度
 (3) 所 管 農林水産振興部 農業振興課 地域農業育成室 伊予農業指導班
 (4) 予算額 1,522 千円

2 事業目的

県の愛あるブランド産品に認定されている七折小梅は、平成26年度頃から安定した収量の確保ができず、生産量が低迷している。そこで、各種栽培技術の検証を行うとともに、連年結果性で生産安定が期待できる優良系統の選抜を行い、改植更新による園地の若返りを図ることで、産地の再興と地域の活性化に取り組む。

3 主な取組（何をしたか）

(1) 七折小梅生産安定プロジェクトチーム会議の開催

- 七折小梅の生産安定技術の確立と普及を目指し、ななおれ梅組合、砥部町、JAえひめ中央、県(農産園芸課、果樹研究センター、中予地方局)で構成するプロジェクトチーム会議を開催し(3回)、関係機関と連携して生産安定対策を推進した。



図1 樹形改善講習会

(2) 着果不良の原因解明と技術実証

- 生産安定のための栽培技術として、液肥等を活用した着果安定効果の検証等を行った。
- 高品質安定生産と早期成園化を目指した実証園を設置して、樹冠の拡大による初期収量の確保技術を普及した。
- 産地の高齢化や担い手への集約化に対応するため、省力化を踏まえた樹形改善や電動農具(はさみ・チェーンソー)の活用を実演した(図1)。



図2 優良系統の着果状況

(3) 優良系統の選抜と優良苗木の育成更新

- 優良系統として竹内系統(図2)を選抜、苗木の母樹として改植更新を推進した。
- 優良系統の母樹園(7a)を設置し、将来的な優良苗木の生産体制を整えた。

4 成果（何がどう変わったか）

- 優良系統の選抜では、安定収量と品質に優れた竹内系統を選抜。優良系統苗木を生産して改植更新に活用し、今年度約1ha、本事業ではこれまでに3haの園を改植更新することができた。
- 省力化対策では、樹形改善による収穫作業の効率化や電動農具利用による作業の軽労働化に取り組む農家が増えた。
- 新規就農者の確保育成活動や技術支援等を通して、1名の新規就農者を確保することができた。